

平成 30 年度研究科入試問題（第 2 次）

日本語学（出題意図）

（人文科学研究科言語・社会文化専攻言語文化コース）

I.

日本語の格助詞ととりたて助詞に関する文法現象を、用例をもとに正確に理解し、説明できるかどうかを問う設問です。

各例文における「でも」という形式について、「でも」が 1 つの形式なのか、「で」と「も」に分かれるのか、そして、それぞれどのような意味を表すのかということ、他の形式・表現との置き換えを用いて説明することが求められます。

II.

日本語の文字・表記史に関して、仮名の文字体系としての特徴に関する知識を問う設問です。

平安時代に成立した平仮名・片仮名の文字体系としての特徴を、音韻、形態など当時の言語的特徴との関連から説明することが求められます。

III.

日本語学、日本語史、日本語学史などの基礎的知識を問うための設問です。

単なる知識として記すだけでなく、その中の問題点を意識しながら述べることが求められます。